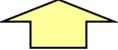


令和6年度 長崎市立高島中学校 学力向上プラン

- 【学校経営方針】**
- ・「確かな学力」の向上を図る
 - ・家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図る
 - ・健やかな心と体を育成する
 - ・安心・安全に学べる教育環境を整備する

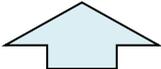
【学校教育目標】
笑顔いっぱい
～気づき、考え、行動する高島っ子を育てる～



めざす子ども像
○たくましく生きる高島っ子 ○感謝の心を持ち優しく思いやりのある高島っ子 ○真剣に取り組む高島っ子 ○学び合う高島っ子

- めざす職員像**
- 授業に真剣に向き合う職員
 - 子供に寄り添う職員
 - 協働する職員

- めざす学校像**
- 学力を保障する学校
 - 心を育む学校
 - 体を鍛える学校



第五次総合計画

- 基本施策 G1
「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」
- 個別施策 G1-I
「確かな学力の向上を図ります」

確かな学力の向上のための重点努力事項

- ① 授業改善
- ② 学びの習慣化
- ③ 主体的な学びの実現
- ④ 家庭教育と学校教育の連携

重点目標（成果指標）

- ・研究アンケートにおける自立的学習者に関する項目（2-②）において、4段階中平均3を目指す。
（年度当初：平均2.5）



【生徒の実態とねらい】
各学年とも少人数であり、幼少期より共に過ごしている友人たちが身近にいる。中学校卒業後、地元や長い付き合いの友人たちと離れて生活していくことを踏まえ、自ら考え、判断し、自分の力で道を切り拓く力を育てる必要がある。一方で、全国・県・市の学力調査の結果から、基礎・基本の内容に顕著な課題が見受けられる。そのため、自らの力をメタ認知でき、自分に合った方法で学びを展開する自己調整力をつけさせ、課題に粘り強く取り組む経験を積ませることが重要である。主体的な学びを通して、自立した学習を展開できる高島っ子を育成し、基礎・基本の定着を図る。



高島の宝である子どもたちの健やかな心と体の育成

授業改善

- 生徒たちにとって興味が湧きやすい教材開発を行い、「知りたい」「学びたい」と思う導入の工夫をする。
- ペアやグループの対話的な学びを取り入れる。
- 学びの見通しをもたせたり、客観的なデータと比較したりする学びを通して、自己調整力を育む。
- 各教科において、見方・考え方を働かせた思考力・判断力・表現力の育成を行う。

学びの習慣化

- クロームブックの持ち帰り、AIドリル等を活用した家庭学習の充実を図る。
- 朝の「学力充実」の時間を使い、個に応じた支援を行う。
- 「質問教室」を実践し、学習の習慣化を促進する。
- 家庭学習の実施状況を記録・掲示して可視化することで、他者と比較しメタ認知力を高めさせる。

主体的な学びの実現

- 生徒の実生活と結びつけ、「知りたい」「学びたい」が続く教育を行う。
- 課題設定を工夫し、粘り強く取り組む姿勢を醸成する。
- 解決が困難な問いに対しても、解決の筋道を立てさせ、次は自分の力で解決できるよう支援する。
- フォーサイトを活用し、日々の学習の計画を立てたり、家での過ごし方を見直したりさせる。
- 総合的な学習の時間やキャリア学習で地域から学び、生涯を通じて学び考え続ける素地をつくる。

家庭教育と学校教育の連携

- 「早寝・早起き・朝ごはん」をキーワードにし、生活リズムを身に付けさせる。
- 定期テスト後に教育相談を実施し、生徒の実態を把握する。
- 授業参観・学級懇談会を学期に一度開き、家庭と情報交換し連携を図る。
- 夏季休業中、1・2年生は二者面談、3年生は三者面談を実施し、家庭との連携を図る。

小中学校の連携を生かした指導

- 9年間を見通し、一貫性のある継続した指導を行う。
- 月に一度、小学校と情報交換する場を設定し、生徒理解および共通理解を深める。
- 中学校職員が小学校の乗り入れ授業を行い、相互授業参観することで学力向上を図る。

朝の時間の活用

- 「読書タイム」を設定し、一斉に読書を行う。
- 「ハートタイム」を設定し、様々なジャンルの本に触れる機会を作るとともに、自分の思いを伝えて仲間を受け入れてもらったり、他者の考えを聞いて広げ深めたりする機会をつくる。
- 「学力充実タイム」を設け、国語・社会・数学・理科・英語の基礎学力の向上や、自己調整力の育成を目指す。
- 「タイピング」の時間を設け、ICT活用能力の基礎技能習得を図る。